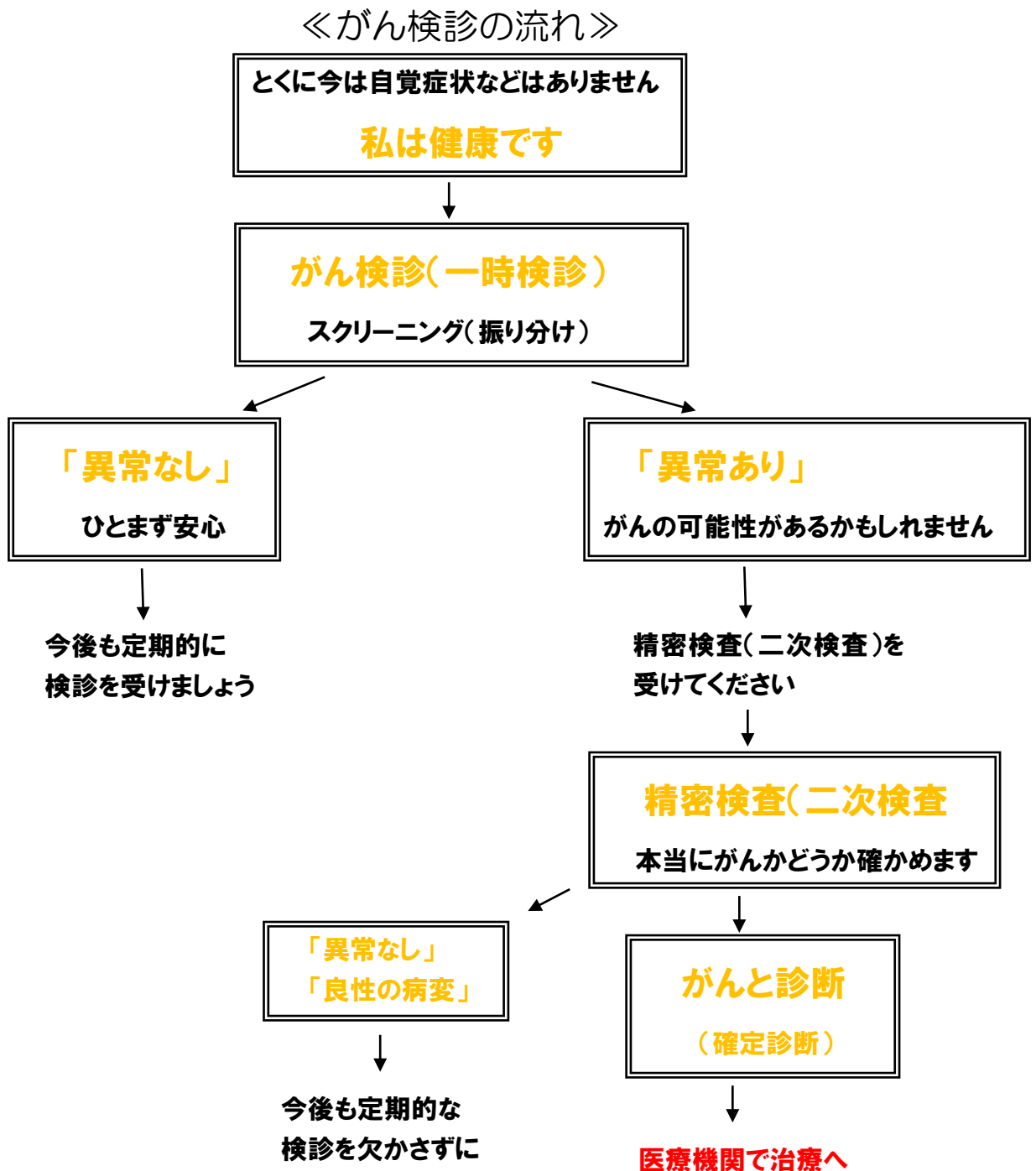


がん健診 まず知ってほしいこと

- ◆ 一生のうちに、「がん」にかかる日本人は、約 2 人に 1 人。
- ◆ 「がん」は早期発見すれば、約 9 割は治る。
- ◆ 早期発見のためには「がん検診」が重要。



《国が勧めるがん検診》

がんの名称	特徴など
胃がん	ピロリ菌の感染が発病にかかわっているとがんがえられている。
大腸がん	運動不足や肥満、大量の飲酒などが発病に関連している。
肺がん	我が国では、死亡者数が最も多く、特に男性に多い。 最大の原因は喫煙であり、たばこを吸う人が肺がんにかかる確率は、男性では吸わない人の4～5倍になる。
肝臓がん	主な原因はB型及びC型の肝炎ウイルスの感染である。 大量の飲酒の習慣も、肝臓がんになるおそれがある。
乳がん	乳房内にがんのかたまりができるため、しこりや皮膚のくぼみなどの有無を自己チェックすることが重要である。
子宮頸がん 子宮体がん	子宮のがんには、子宮の入口（頸部）にできるものと、子宮本体（体部）にできるものがある。 頸部にできるものでは、初期の段階では症状がないことが多い。特に症状がなくても、20歳を過ぎたら、2年に1回子宮頸がんの検診を受けることが勧められている。
前立腺がん	診断方法が普及したことで、前立腺がんと診断される人が増加してくる。 かなり進行した場合でも適切に対処すれば、通常的生活を長く続けることができる。

◆ **がん検診を受ける決め手は・・・・・・・・**

友人等の勧奨(身近な家族や友人をがん検診に誘ってください)

国ではがん検診の受診率を50%以上とすることを目標にしています。